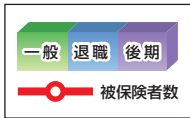
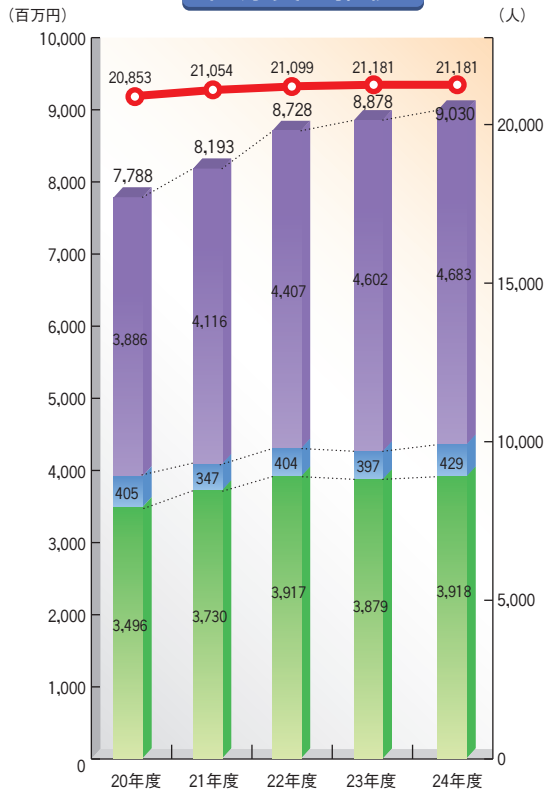


下 野 市

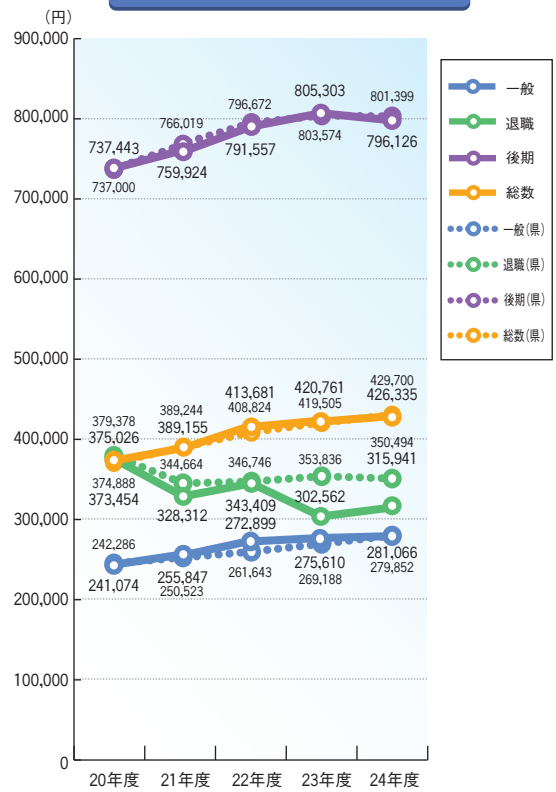
下野市



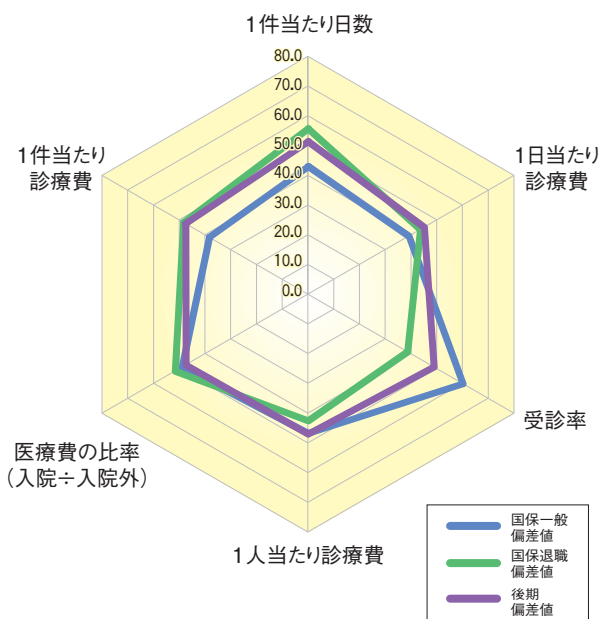
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

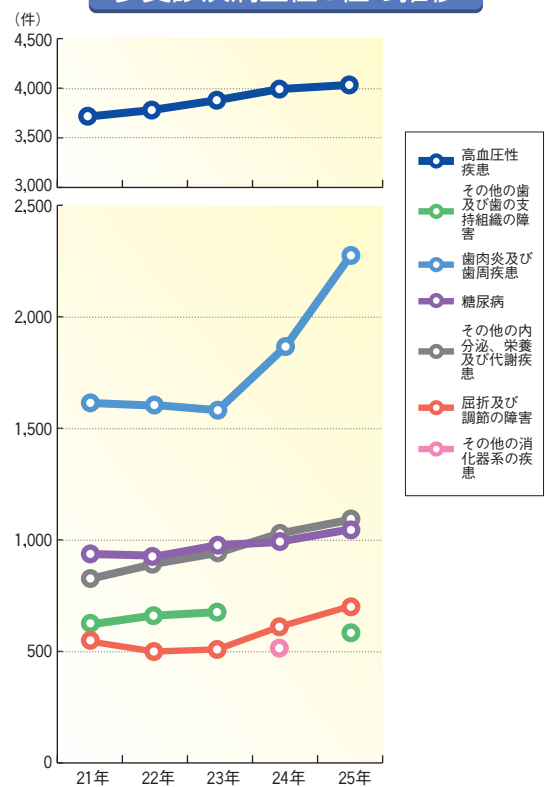


平成24年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

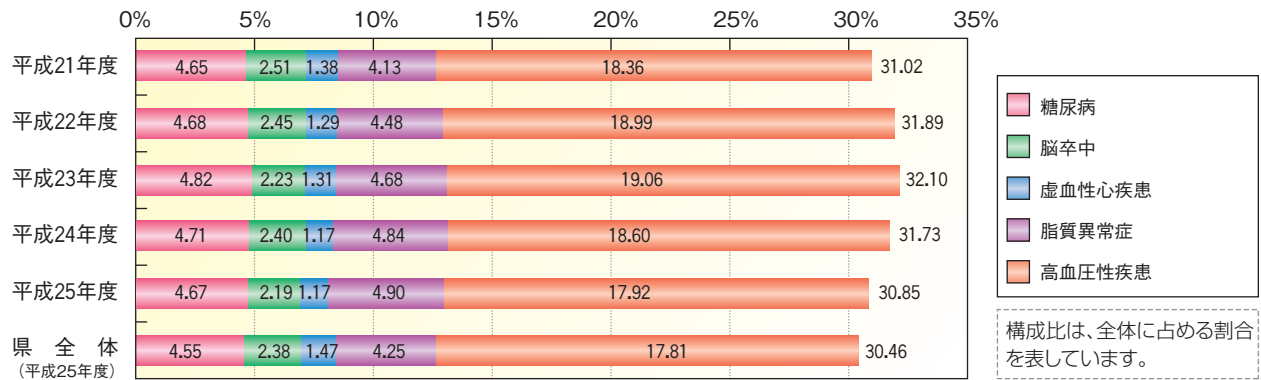


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

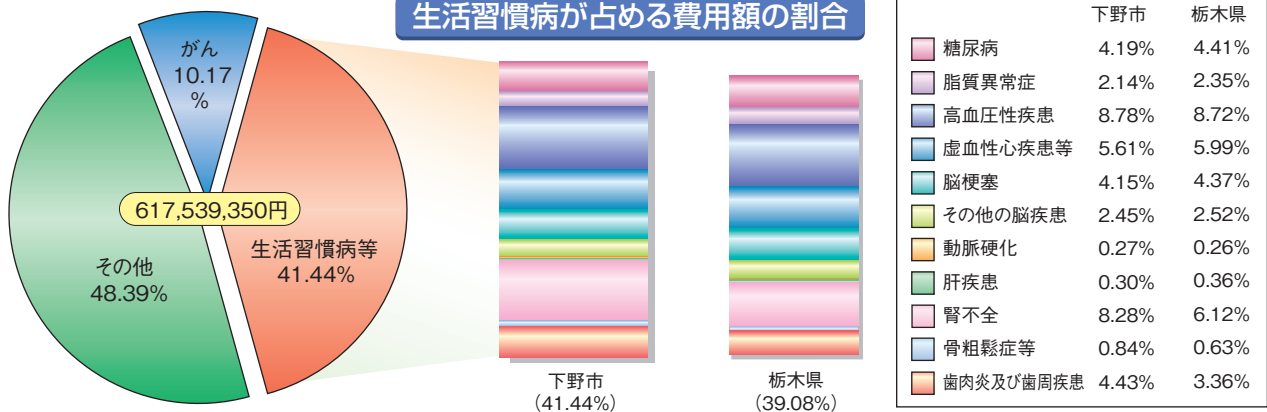
多受診疾病上位6位の推移



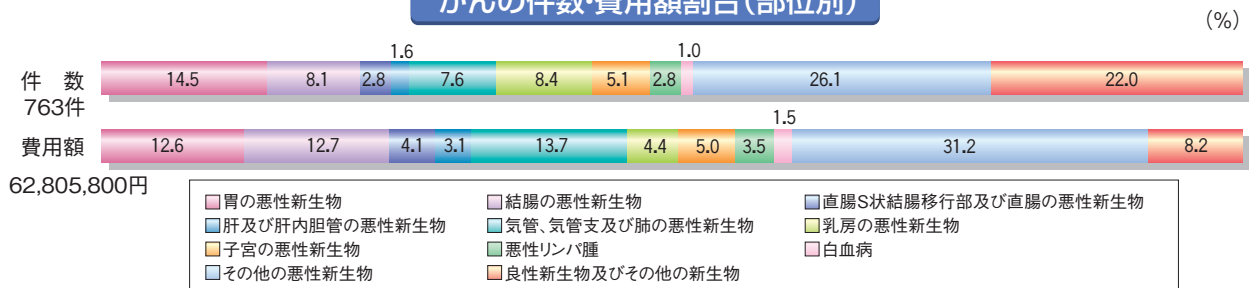
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



下野市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,918,335千円(101.0%)、退職429,047千円(108.2%)、後期4,682,816千円(101.7%)で、全体では9,030,198千円(101.7%)と増加している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は21,181人で、内訳は一般13,941人、退職1,358人、後期5,882人である。前年度と比較すると全体で100.4%とほぼ変化はない。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は426,335円(5,574円増)、一般は281,066円(5,456円増)、退職は315,941円(13,379円増)、後期は796,126円(9,177円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費、1人当たり診療費、1件当たり診療費は、いずれの法別も平均を下回る低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は年々増加傾向にあり、平成21年と比べると件数は1.4倍、費用額は1.3倍に増加している。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、高血圧性疾患は平成23年度より年々減少傾向にある。

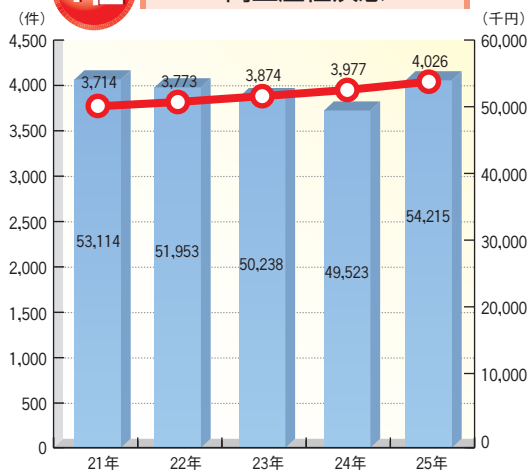
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が617,539,350円で、がんが10.17%、生活習慣病関連が41.44%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.78%、腎不全8.28%、虚血性心疾患等5.61%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

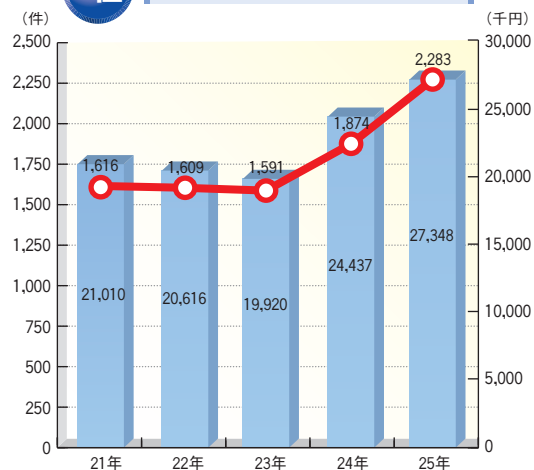
1位

高血圧性疾患



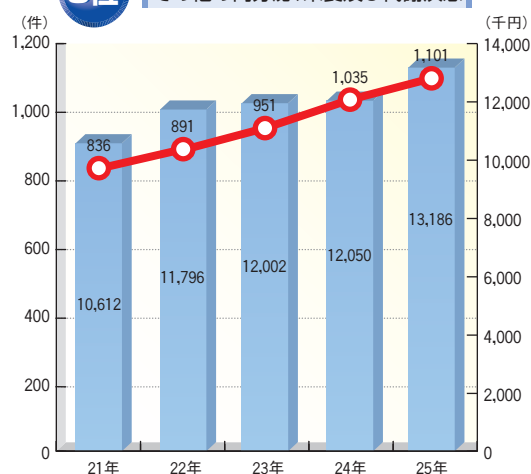
2位

歯肉炎及び歯周疾患



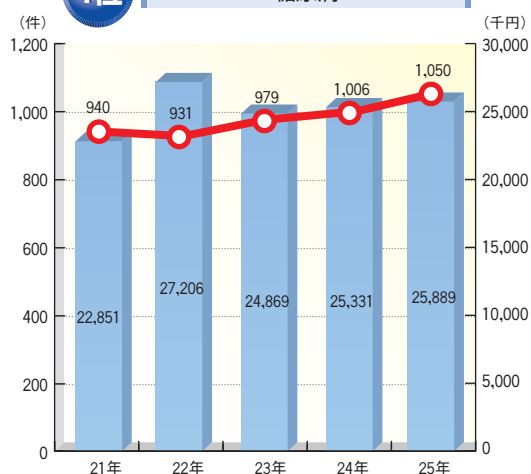
3位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



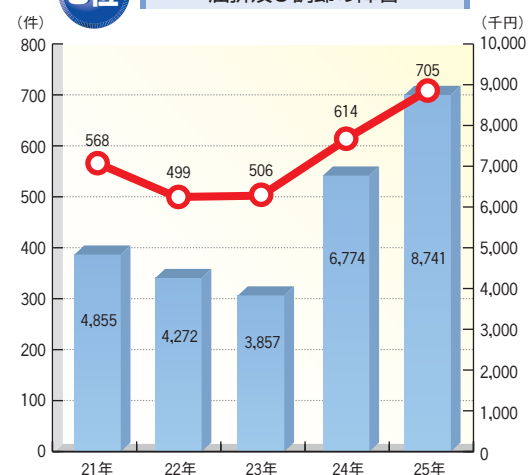
4位

糖尿病



5位

屈折及び調節の障害



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

